

防災特集 総合防災訓練

—いざという時に大切な人を守れますか?—

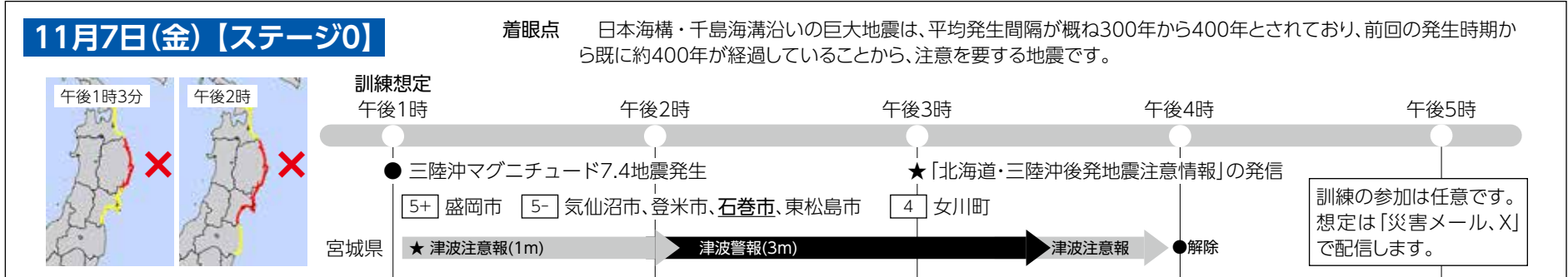
11月9日(日) 午前8時30分～正午 ※小雨決行

主要テーマ

- ①先発地震と北海道・三陸沖後発地震注意情報の発信に伴う対応
- ②日本海溝沿いの巨大地震発生状況下における地域の災害リスクからの避難
- ③地域コミュニティの維持・活性化

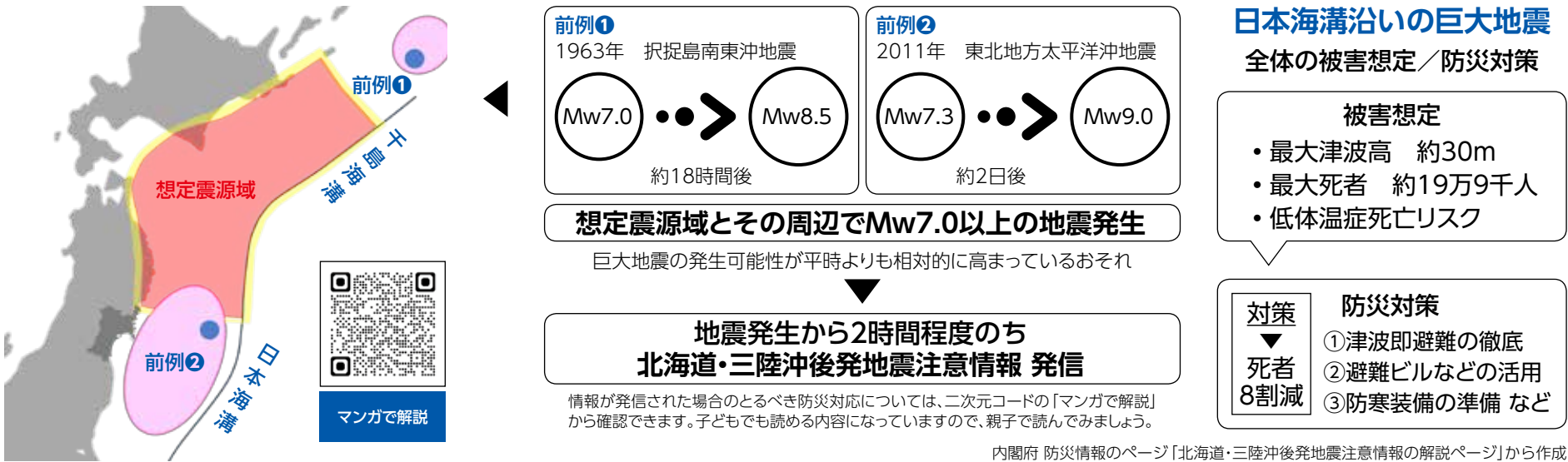
図 危機対策課(内線4310)

ステージ0	ステージ1	ステージ2
11月7日(金)午後1時～4時 自宅や職場で配信される想定から訓練可能 ・三陸沖でマグニチュード7.4の地震の発生 ・津波警報の発表 ※避難指示対象エリア：高盛土道路などより海側エリア、半島沿岸部低平地エリア ・北海道・三陸沖後発地震注意情報の発信	11月9日(日)午前8時30分～10時(目安) ・三陸沖を震源とするマグニチュード9.1の巨大地震発生 ・大津波警報の発表 ・北上川・旧北上川・江合川に氾濫警戒情報発表 ※避難指示の発令：一部の地区 ・シェイクアウト訓練 → 避難訓練 → 避難所開設訓練 ・ペット同行避難マニュアルの実効性確認	11月9日(日)午前10時～正午 ・地域防災訓練 地域防災上の弱点・不得意分野の訓練など任意 ※地域で主体的に訓練を計画し、住民相互の関係を深化させることに加え、子どもたちの学びの場を作り、地域の方々が培ってきたノウハウや経験などを次の世代へ継承する取り組み



北海道・三陸沖後発地震注意情報

内閣府が、日本海溝・千島海溝沿いで「切迫性が高まっている」と評価している巨大地震について、想定される被害の減災を目的に運用している情報であり、令和6年8月に出された「南海トラフ臨時情報」と同様に巨大地震への注意を呼びかける情報の「東北版」です。実際に後発地震が発生する確率は、世界の事例を踏まえても100回に1回 程度と低いものですが、ひとたび発生した場合は、広範囲で被害が生じるおそれがありますので、情報の趣旨を理解し日頃からの備えを徹底しておくことが必要です。



図は、「X」付近で堤防が決壊した場合の浸水想定区域

GSI-浸水ナビから作成

着眼点

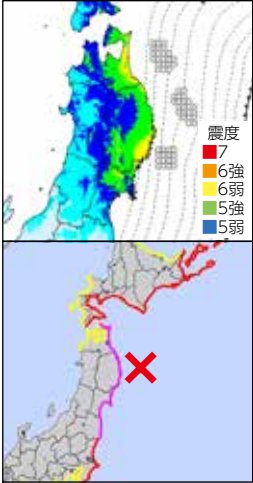
河川の上流域で大雨になった場合、時間とともに下流域の水位が上昇することおよび地震による堤防への影響にも注意

避難情報と 防災気象情報

「市報いしのまき 5月号」の特集「水害と土砂災害に備えて」から確認ください。



市報いしのまき はこちら



11月9日(日)【ステージ1】

着眼点 マグニチュード8を超えるような巨大な地震の場合、精度のよい地震の規模をすぐに求めることができないため、その海域の最大の津波想定などから津波警報などを発表します。このため、高さの表現を津波警報は「高い」、大津波警報は「巨大」と発表し、地震の規模や精度が求められた時点で数値で発表(約15分後)します。

訓練想定
午前8時

午前9時

午前10時

午前11時

正午

● 三陸沖マグニチュード9.1巨大地震発生

[6+] 気仙沼市 [6-] 登米市、石巻市、東松島市

宮城県 ★ 大津波警報(巨大)→10m超

● ステージ1終了

● ステージ2(地域防災訓練開始)

※ステージ2の開始および終了時刻は、地域の状況に応じて行ってください。

● 訓練終了

日本海溝沿いの巨大地震における内閣府の想定

石巻市 最大震度 6弱

最大津波高 14m(太平洋沿岸部)

●大雨注意報(土砂災害)発表中

●洪水警報発表中

●氾濫注意情報発表中 → 氾濫警戒情報発表(各河川「✕」付近の堤防で、複数の亀裂を確認)

●避難指示発令:河南・桃生全地区、河北(飯野新田～五十五人、三輪田～北境)

避難指示の発令 気象庁が津波警報などを発表した時点で、避難指示は自動発令です。

	避難指示対象エリア	
	石巻エリア	半島沿岸部・低平地エリア
大津波警報	津波ハザードマップの津波浸水想定区域	
津波警報	高盛土道路等より海側エリア	荻浜全域、河北一部地域(長面、尾崎、釜谷、間垣)、雄勝・北上・牡鹿全域
津波注意報	防潮堤の海側エリア	地域を定めず、沿岸作業者全般

津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報

[津波予報区]宮城県



●A点

●B点

●D点 ●C点

●E点

(例)

A点	3m	10時32分
B点	3m	10時33分
C点	2m	10時34分
D点	2m	11時05分
E点	2m	11時10分

予報区内最大 3m

予報区内最早 10時32分

警報などの種類 津波警報

予想される高さ 3m

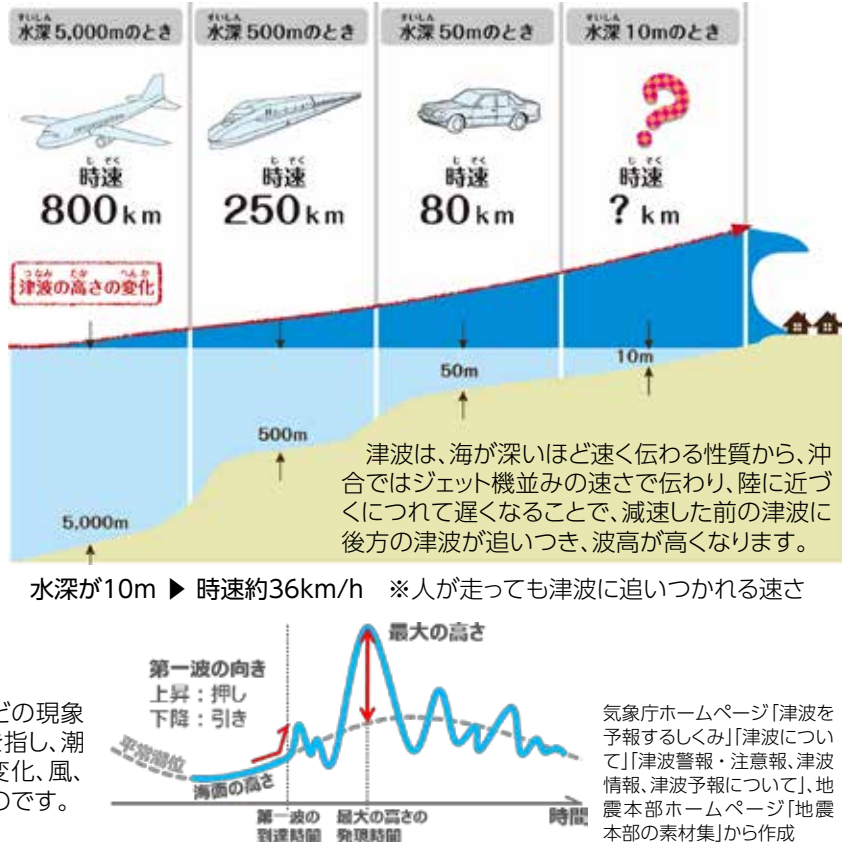
到達予想時刻 10時30分

津波警報や注意報は、津波予報区内の複数地点から沿岸の高さに換算し予想された津波の高さの中で、最も高い値を「予想される津波の最大波の高さ」として発表されます。

また、津波の到達予想時刻は、予報区内で津波到達が最も早い場所での「第1波の到達予想時刻」として発表されます。

このため、同じ予報区内であっても、場所によって実際の津波の高さや到達時間は異なります。

津波の伝わる速さと高さ



津波の高さとは

津波の高さは、津波がない場合の潮位(平常潮位)から、津波によって海面が上昇したその高さの差をいいます。また、気象庁が津波情報で発表している「予想される津波の高さ」は、沿岸での値です。

「平常潮位」は、津波や高潮などの現象がない状態の実際の海面水位を指し、潮の満ち引き(天文潮位)に気圧変化、風、沿岸流などの影響が加わったものです。

訓練参加者の状況把握などのため、アンケートに協力ください

回答方法 FAX 25-6835、二次元コード

※各組織の代表者は、所属する組織の結果をQ1～15に回答し、Q16は代表者個人の意見として回答ください。

※個人または家族の方は、各組織の訓練に参加した場合でも、個人または家族の結果として個別に回答をしてください。

※Q1・6・13・14・16以外は、複数選択可

Q1.	区分	☐ 個人 ☐ 家族 ☐ 町内会・行政区の代表 ☐ 自主防災会の代表 ☐ 企業 ☐ 保育所(園)・こども園 ☐ その他
Q2.	訓練形態	☐ 単独で実施 ☐ 家族のみで実施 ☐ 町内会・行政区の訓練に参加 ☐ 自主防災会の訓練に参加 ☐ 学校の訓練に参加 ☐ 企業の訓練に参加 ☐ 保育所(園)・こども園の訓練に参加
Q3.	組織・団体名	[]Q2で訓練に参加を選択した方は組織の名称をご記入ください。
Q4.	参加人数	_____人 ※参加者の内訳が分かる場合は、Q5にご記入ください。
Q5.	参加者の内訳	大人_____人 / 幼児_____人 / 高校生_____人 / 小中学生_____人 / 消防団員_____人
Q6.	地区	☐ 本庁 ☐ 渡波 ☐ 稲井 ☐ 荻浜 ☐ 蛇田 ☐ 河北 ☐ 雄勝 ☐ 河南 ☐ 桃生 ☐ 北上 ☐ 牡鹿
Q7.	訓練の実施日	☐ 11月9日(日)※訓練当日 ☐ 11月2日(日)～11月8日(土)※訓練当日以外
Q8.	参加した訓練	☐ シェイクアウト訓練 ☐ 避難訓練 ☐ 避難所開設訓練 ☐ 地域防災訓練 ☐ その他
Q9.	地域防災訓練の内容	☐ 安否確認 ☐ 負傷者の救出 ☐ 応急手当 ☐ 負傷者搬送 ☐ AED操作 ☐ 初期消火 ☐ 逃げ遅れの確認 ☐ 避難行動要支援者等の避難 ☐ 避難行動要支援者等の高所避難 ☐ 避難誘導 ☐ 炊き出し ☐ 非常持出品の確認 ☐ 防災資機材の確認 ☐ 防災キャンプ ☐ 防災学習 ☐ その他 []
Q10.	その他(地域防災訓練以外の訓練内容)	※実施した場合は、訓練内容をご記入ください。[]
Q11.	想定した災害 ※外水氾濫▶河川の氾濫	☐ 地震 ☐ 津波 ☐ 外水氾濫 ☐ 土砂災害 ※実施した全てにチェックしてください。
Q12.	避難の手段	☐ 徒歩 ☐ 自転車 ☐ 車いす ☐ バイク ☐ 自動車 ☐ 避難車 ☐ その他 []
Q13.	参加者の割合	☐ 昨年より多い ☐ 昨年とほぼ同様 ☐ 昨年より少ない ※個人、家族、その他の区分を除く。
Q14.	ステージ0 (11月7日(金)任意の訓練)	☐ 参加した ☐ 参加しなかった
Q15.	ステージ0の参加人数	_____人
Q16.	北海道・三陸沖後発地震注意情報	☐ 知っていた ☐ 聞いたことはあった ☐ 知らなかった



アンケート
回答はこちら

令和7年度原子力防災訓練

市内全域で屋内退避訓練などを実施します。防災行政無線や登録制防災メールなどでお知らせしますので、自宅などの建物内への退避をお願いします。建物内へ退避した時点で訓練は終了となります。

とき 11月15日(土)午前9時30分

※デジタル身分証アプリ「ポケットサイン」のミニアプリ「原子力防災」を活用ください。

※実際の災害と間違わないように注意してください。 ※学校施設への避難はできません。

☎ 危機対策課(内線4314)



iOS



Android

ポケットサインの
ダウンロードは
こちら